



大杉東小だより

令和8年9月30日 NO. 6

江戸川区立大杉東小学校 校長 望月 潔

支え合い、認め合う中でつくる「実り豊かな秋」

10月の学校だよりといえば、「朝夕の心地よい秋風とともに…」や「天高く馬肥ゆる秋が…」などの言葉で始めることが多いのですが、今年に関してはそういった爽やかな挨拶とは無縁の天気が続いています。東京では33日連続で降水を観測しているとのこと(9月28日時点)。まさに異常気象です。

お隣の千葉県をはじめ、石川県、愛知県など、日本中で大雨や台風による水害が相次ぎ、自然の猛威と防災の大切さを改めて痛感する1か月となりました。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、当たり前の日常が送れることのありがたさを、子どもたちとも振り返る機会を持ちたいと考えております。

天候は不順ですが、東っ子たちは元気いっぱいです。束の間、晴れ間がのぞいた日の休み時間は、校庭に子供たちの声が響き渡り、学年入り混じって汗だくで遊ぶ姿が見られました。竹馬の挑戦も始まっています。

さて、10～12月は竹馬運動会や校外学習など、仲間と協力して創り上げる行事が続きます。子供たちにとってワクワクな季節ですが、ここで大切になるのが「**多様性を認め合う心**」です。

子どもたちは一人ひとり、得意なことや苦手なこと、考え方や感じるタイミングが違います。自分とは異なる意見や個性に触れたとき、「そういう考え方もあるんだね」「みんな違っていいんだ」と受け止める姿勢こそが、健やかな学びと本当の絆を育みます。「30人いれば30通りの考え方があるんだ」と知ることが、学校教育の目標だと言っても過言ではありません。

教職員一同、子どもたち一人ひとりの「ちがいを大切な個性として捉える」「児童理解」を深め、誰もが安心して自分の力を発揮できる環境づくりに努めてまいります。

ご家庭におかれましても、お子さんの小さな挑戦や変化を温かく見守っていただき、互いの良さを認め合える声かけを行っていただければ幸いです。実り多き秋となりますよう、今月もどうぞよろしくお願いいたします。

【通知表は「励まし」の材料です】

今月は、子どもたちに「通知表(あゆみ)」をお渡しする時期でもあります。通知表は、決してお子さんの人物を評価したり、他者と比べたりするものではありません。学校での学習や生活の様子をお伝えし、これからの成長に向けた「励ましの材料」としていただくためのものです。

ご家庭でも、結果の数字だけでなく「ここが伸びたね」「こんなに頑張ったね」と、これまでの過程を大いに認め、励ましの声をかけてあげてください。ご家庭での温かい言葉が、子どもたちが次のステップへ踏み出すための大きな活力となります。

多様な個性をもつ子どもたちが、互いを認め合いながら自らの歩みを進めていけるよう、引き続き温かいご支援とご協力をお願いいたします。